

**令和元年度 久留米広域連携中枢都市圏  
ビジョン懇談会 小分科会（移住促進ワーキング）  
議事録**

(1) 日 時： 令和元年8月22日（木）15：30～17:00

(2) 場 所： えーるピア久留米 210、211 学習室

(3) 出席者： <ビジョン懇談会委員>2名

上野秀幸委員、高木亜希子委員

<ワーキンググループ職員>9名

<事務局>3名

(4) 次第及び内容：

〔○…委員発言 ●…ワーキンググループ、事務局発言〕

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 説明事項
テーマ「圏域の移住定住活性化策について（東京圏や福岡都市圏への移住アプローチの方法）」 配布資料をもとに説明
4. 意見交換
●説明した内容についてご質問あればお願いします。
○うきは市の空き家バンクの運営で成約が5件ということですが、どういった方がどういった理由でそちらの方に来られるのか、参考にしたいです。
●最近売買物件の登録がほとんどで、遠方に住まれてある方が、帰って来られないので売りたいと登録され、アパートではなく戸建てに住みたいという方が購入されています。購入される方は市内より市外の方で、40～50代の方が多いです。仕事は自営または起業される方が多い状況となっています。創業支援窓口に繋いでスライド支援しています。
○小郡市に伺いたいのですが、民間主催の移住フェアに出展されていて参加人数が突出して多いのですが、どちらの民間のフェアですか。
●グリットグループホールディングス(株)の地方創生プロジェクト事務局が主催しているイベントです。29年度から縁あって参加しています。東京で約1,000人、大阪で約200人の来場者でした。当市の相談者数が多いのは福岡人気の影響です。必ず主催者がブース席まで誘導し、座って話を聞いていただくという体制を取ってくれるので参加しています。
○首都圏イベントと福岡都市圏イベントを比較して、正直コスパはどちらが良いのでしょうか。
●コスパからいうと圧倒的に福岡都市圏です。福岡だとある程度久留米市のことをご存知なので、移住に結び付きやすいと考えています。首都圏だと久留米市を知ってもらうことから始める必要があり、交通費、人件費もかかります。
●大川市も一緒です。ネコ家具を持ってアンテナショップに行きましたが、送料や人件費もかかる割に人はほとんど来ないという状況でした。
○全国だとどうしても、まず福岡県を選択肢にされた後のアクションになるから厳しいですね。
●首都圏ではまずPRですよ。そういうことで実施するなら良いと思います。
●福岡都市圏での移住フェアは難しさを感じています。うきは市に興味があるならいつでも来られる距離。話をしている移住を本当にしたい人は少ない気がします。のれんに腕押しでやり難さを感じます。東京や大阪の方が、人数は少ないけど本気で考えている人に結び付きやすいと感じ

<p>ています。</p>
<p>●コスパを考えると県内でやった方が良いと思います。福岡県を出ますと大刀洗町を知らない人がかなり多いので、そこから説明する必要があります。ただ、数字を見ますと大刀洗町への転入者の75%は県内からで、うち久留米圏域から35%、福岡市からは13%程です。東京都市圏からは15%程で一定の取組効果は見えます。さらに今年度から東京都市圏を対象として100万円の移住補助金をご用意しますので、今までよりPRは有効になります。また、県外から転入の50%は九州圏からで、佐賀市などもターゲットになると思います。年代では30～40代の転入が多く、子育て世代をターゲットにしています。</p>
<p>●それでは、本題の意見交換に入らせていただきます。移住促進を活性化させるために、連携して取り組んだ方が効果的なのはどういったものか。私どももなかなかこれというものを見出せていません。連携することでかえって各市町の良さがぼやけてしまう恐れもあると感じていて、何かいいアイデアはありませんか。</p>
<p>○さきほど東京圏での移住フェアで3人ほどヒットするという話がありましたが、その理由はどのようなものですか。</p>
<p>●たとえば、福岡都市圏出身で関東に出ていて、帰るならば福岡市周辺で少し落ち着いた所にと考えている人、こういう人はうちとしてもすごく捉まえたいと思います。</p>
<p>○なぜ質問したかという、私は地場産センターという、ものを売るのが得意なところに勤めています。最初の頃はどんな商品を置いたらいいのかを考えていましたが、先生方に聞くと、「そんなことはお客様に聞きなさい。」と言われます。なんで買うのか、どうしてそこに行くのか、そのへんのところをキャッチし分析して、ニーズに合った情報等を提供すれば、チャンスは広がると思います。</p>
<p>○大都市圏だとどうしても保育園の待機児童が多いですが、ローカルだと解決しやすいので売りにできると思います。また、病児・病後児保育施設、共働き世帯では絶対に必要な施設でアピールポイントになります。久留米市や小郡市は福岡都市圏とアクセスが良いので、福岡都市圏への通勤者をどれくらいキャッチアップできるかは大きいのではないのでしょうか。ぜひアピールしてほしいと思います。また、いざ転入するとき、自治会ルールがすごく見えづらいことがあります。ちゃんと情報を開示していただくと良いと思います。</p>
<p>●大刀洗町では定住促進住宅の3棟目を建てているところですが、子育て世代がターゲットです。今、貴重なご意見を伺いました。地域の方々は関与好きで、早く馴染んでもらおうと、関わりを持ってきます。自治会費も高いけど、その辺の間を行政がうまく取り持つのかなと思います。コミュニティの見せ方が大事だと思いました。</p>
<p>●空き家の問い合わせが多く、受け答えに差がでてしまいます。県版空き家バンクもありますが、うちとやり取りしている不動産業者はあまり載せません。自社のHPとフレンズに載せればほぼカバーできるので、連携中枢で空き家バンクのページを創る必要はないと思います。</p>
<p>●圏域の保育環境は、連携してPRできる魅力があるということですね。</p>
<p>○久留米広域では病児病後児保育がありますよね。整備されていないところの方にすれば、アピールポイントです。Uターン組、Jターン組の方が正直捉まえやすいのでしょうか？</p>
<p>●そうですね。本気度とか、話しやすい方はそういう人たちです。</p>
<p>○地元で高校時代まで過ごした人の方が捉まえやすいと思います。</p>
<p>●子育て世代の方に来てほしいとのことですが、仕事などは皆さん紹介されていますか。うきは市では、ビジネスカフェ「ユービック」というところで、ハローワーク情報と、独自にうきは市</p>

<p>内企業から資料を取り寄せ紹介等をしています。ただ、どうしても福祉部門、パートが多く、正社員としては福岡市とだいぶ差があるため、それだけで移住に繋げるとなると難しい。広域的な斡旋、対応が必要だと感じます。</p>
<p>○私は、どうしても学区を考えてしまいます。だから久留米市や小郡市を紹介してしまいます。うきは市は公立の学区がかわいそう。</p>
<p>●久留米など区域外の県立高校を受けられるようにしてほしいと思っています。</p>
<p>○中間の子がみんな私立に行ってしまう。高校で寮に入ってしまうと帰ってくる選択肢はなくなるのではと思っています。</p>
<p>●広域でやる意味は、久留米圏域のダム機能といいますか、みんなで外に出て行って、大都市圏の人を引っ張ってきて、まずはこの地域を知ってもらって、そこから圏域全体の人口を維持していくことが狙いだと思います。広域でしっかりダム機能を果たす。広域連携でモーションをかけていくことは、これからもありかなと思っています。上野委員が指摘されましたが、移住先になぜ大刀洗町を選んだのかの調査は十分ではなく、再度把握していく必要性を感じました。他の自治体は把握されていますか。</p>
<p>●転入ファミリー一定住奨励補助金を使ってこられた方にはアンケートを実施しています。別に転入窓口でも昨年6月からアンケートを取っています。ただ、簡易な選択式なので、複合的な要素などについて十分な分析ができる調査にはなっていません。</p>
<p>●今年、総合計画を立て直す段階で市民アンケート調査を実施し、その中に移住関係の設問を盛り込みたいと考えています。</p>
<p>●転入時点でアンケートを実施していますが、回答率は50～60%です。総合計画等に活用しています。また、転出については、異動、就職、就学が多く、転出先は割と久留米市が多く、次が福岡市です。</p>
<p>●連携して取り組んでいくときに、それぞれ地域性があるって、その違いが地域の良さというところもあって、連携は難しいという話がよく出ます。連携していく上では、広域内で共通して「これが売り」というものが、まだ整理されていないと思います。それがあつた上で、それぞれ相談者の好みにあつたものを紹介していく、そこで地域性がでてくると考えています。久留米広域では、これは共通して首都圏等でもPRできるというものに、しっかりとシフトを有したいと思っています。</p>
<p>●連携して取り組むので、エリアの良さをまとめて発信できたらと思いますが、圏域の魅力を発信する共通のものとしては「いいとこドリル」しかありません。どこに向けて発信するのか、首都圏、福岡都市圏、発信エリアに対しての強みは何か等、分析しながら勉強していくことが必要だと思います。久留米広域エリア共通の魅力についてはどうでしょうか。</p>
<p>○人口規模の割に医療施設が多いのはすごく大きいと思います。これから高齢化もさらに進むことですし、おそらくどの自治体からも救急救命まで連れていけるし、全国的にもそうない医療環境です。福岡市辺りに比べても救急車の搬送時間は短いと思います。</p>
<p>●広域消防本部データで、搬送時間は久留米25.5分、全国平均は39.3分となっており、全国の中でも搬送時間は短くなっています。連携中枢都市圏と同じエリアで広域消防もやっています。市町村別に見た時は比較できますが、それをエリアに広げた時に響くものになるかは、精査する必要があると思います。</p>
<p>●補助金についてですが、たとえば空き家リフォーム補助金が移住定住促進に効果があるとすれば、圏域で取り組むようなことも良いのではないのでしょうか。</p>

<p>●アンテナショップに代わるものをここで(移住ワーキングで)決めていくということですよ。2年間はアンテナショップがあったので東京へのアプローチもかけやすかったですが、今後はどうするのか。単独が良いのか圏域一緒が良いのか、意見が割れているような気がします。</p>
<p>●各市町それぞれ単独でやってありますし、圏域連携として一緒に何かイベントをやればと考えています。今回の計画ではまだ全然中身がないので、今後ご相談させていただければと思っています。</p>
<p>●久留米市は、ファミリー一定住補助金を見直す話がありましたが、理由は何ですか。</p>
<p>●子育て世代をターゲットにしているので、ひとつはよりそこに訴求するようにお子さんがいる世帯への加算を厚めに、また、久留米市に通勤されている方が移住に繋がりやすいというデータから、久留米市で働く方に加算するなどの見直しを予定しています。効果については、補助金が移住を検討するきっかけになればと考えており、そのためにはPRをしっかりとっていく必要があります、当補助金はPRの一つのツールと考えています。</p>
<p>●大川市の家賃補助は転入世帯に特化したものですか。</p>
<p>●そうです。28年度から実施していますが、近隣の奪い合いになっています。一番は27年度から実施している保育料7割減免で、子供の数が増え大きな効果がありました。ただ、小学校入学前に転出されるケースが多い。やはり「教育」は重要で、そういう視点で見直していく考えです。</p>
<p>●他に移住補助を実施されているところはありますか。</p>
<p>●空き家バンクを利用した方へのリフォーム補助金は昨年度から始めました。</p>
<p>●他にありませんか。それでは、いろいろご意見いただきましてありがとうございました。今後、どうするかもこれからですので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>5. その他</p>
<p>●ビジョン懇談会全体会は秋ごろ開催予定です。</p>
<p>6. 閉会</p>